

MITSUBISHI

三菱電機

Changes for the Better

家庭から宇宙まで、エコチェンジ。



省エネ性能、最大5倍[※]。

三菱電機のヒートポンプ技術をヨーロッパの空調に。

Eco Changes Projects 05

[イギリス篇]



ガスボイラー採用棟



コントロールルーム



ヒートポンプ採用棟



MITSUBISHI ELECTRIC

空気中の熱を空調や給湯に利用する「ヒートポンプ技術」。
ここヨーロッパの環境に適した製品の研究・開発を加速していきます。

現在、CO₂排出量削減に向け、エネルギーの使い方が見直されているヨーロッパ。そこで注目されているのが、これまで主流のガスボイラー暖房よりも省エネと言われているヒートポンプ空調給湯システムです。そこで三菱電機は、スコットランドに「住宅型空調冷熱システム評価設備」を開設。全く同じ造りの建物に、合計で1,400ものセンサーを設置し、一方にヒートポンプを、もう一方にガスボイラーを採用し、コントロールルームで双方の特性や快適性を比較しました。その結果、ヒートポンプが5倍以上の省エネ化を実現できることを実証。三菱電機は日本で、海外で、省エネと快適さを両立した暮らしを支えます。



欧州住宅用ヒートポンプ
熱源暖房・給湯 (ATW) システム

最大 **5**[※] 倍
省エネ

※結果はインターナルテストにおいて、出力エネルギーを入力エネルギーで割って換算されています。外気温度が10℃で内気温度が21℃の場合、ガスボイラーシステム(従来型の放熱器を使用)の省エネ性は0.6から0.8、ファンコイルユニット付きのATWシステムの省エネ性は4.8から5.2の値でした。実際の数値は使用環境やその他の状況によって変わる可能性があります。

世界中で始まっています。詳しくは、

[エコチェンジ](#)

[検索](#)

三菱電機は、グローバル環境先進企業へ。